「世界薬剤耐性(AMR)啓発週間」における普及啓発

資料３

近年、世界的に薬剤耐性菌が増加し、医療や保健の深刻な脅威となっている状況を踏まえ、都では今年度から、薬剤耐性（Antimicrobial Resistance）の認知度向上と抗菌薬の適正使用に向け、「世界薬剤耐性(AMR)啓発週間※」に合わせた普及啓発を開始

＜世界薬剤耐性(AMR)啓発週間＞
WHOは、毎年11月18日～24日を「世界薬剤耐性（AMR）啓発週間」と定め、AMRに対する意識向上と理解促進に向けたキャンペーンを実施

＜期間中の取組＞

- **ポスター展示、グッズ配布等**

  国立健康危機管理研究機構（JIHS）と連携し、都庁第一本庁舎1階中央アートワークにて啓発ポスターの展示等を実施

  ➢ 期間：11月20日(木)～21日(金)

- **隅田川橋梁群のライトアップ**

  隅田川に架かる10の橋を青色にライトアップ

  ➢ 日時：11月20日(木) 日没の15分後～23時

- **薬剤耐性(ＡＭＲ)対策HPの公表** →

  都民の理解促進に向け、新たに情報を掲載

  ＜主な掲載内容＞
  - 薬剤耐性とは/感染症と細菌、ウイルス等
  - 薬剤耐性菌を増やさないために
  - Ｑ＆Ａ　等

  ➢ 公表：11月10日(月)

【ポスター展示】

【ライトアップイメージ】

【展示ポスター・配布啓発資材】

＜お薬手帳＞

AMR臨床リファレンスセンターより
©清水茜／講談社･ｱﾆﾌﾟﾚｯｸｽ･davidproduction

【ホームページ画面】

薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）対策

感染症と細菌・ウイルス等

薬剤耐性とは～抗菌薬を正しく使い、薬が効かない感染症を防ぎましょう～

薬剤耐性菌の状況

薬剤耐性菌を増やさないために

Q&A

感染症と細菌・ウイルス等

▷ 感染症とは

感染症とは、細菌・ウイルス・寄生虫などの病原体が体内に侵入し、増えることで起こる病気です。

▷ 細菌、ウイルス、寄生虫とは

細菌：1μm（マイクロメートル）※前後の小さな生物で、自ら細胞分裂して増えていきます。
※μm：1mmの1/1000の長さ
（例）百日咳菌、結核菌、肺炎球菌、破傷風菌、黄色ブドウ球菌、緑膿菌など

ウイルス：細菌のおよそ1/100～1/1000の大きさで、自ら増殖することはできません。
他の生物の細胞の中に入り、その細胞を利用して増えていきます。
（例）新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルス、デングウイルス　など

▶【参考】「ウイルスと細菌はどう違うの？」
理化学研究所生命医科学研究センターHP

寄生虫：川や土などの環境中や、他の生物（魚や蚊など）の表面や内部に住み着くなどして生きている生物のことで、大きさは様々です。
（例）マラリア原虫、トキソプラズマ原虫、アニサキス、回虫　など

薬剤耐性とは
～抗菌薬を正しく使い、薬が効かない感染症を防ぎましょう～

▷ ウイルス（風邪やインフルエンザなど）に抗菌薬は効きません

抗菌薬は、細菌による感染症を治療するために使われる薬です。このうち、カビなどの微生物が作る天然の化学物質を「抗生物質」と呼びます。ペニシリンが代表的な例です。

現在は人工的に合成された抗菌薬も多く、抗生物質は抗菌薬の一種として位置づけられます。

一方、抗菌薬はウイルスには効果がありません。風邪の80～90%はウイルスが原因とされており、抗菌薬を使っても治りません。抗菌薬を服用する際には、正しい診断と医師の判断が重要です。

薬剤耐性菌を増やさないために

▷ 薬（抗菌薬）は正しく飲みましょう

① 医師の指示された飲み方（1回量・回数・時間）を守り、処方された量を飲み切りましょう。
② 自己判断で途中で飲むのをやめてはいけません。
③ 家族や友人にあげたり、もらって飲んだりしてはいけません。

▷ 感染症を予防しましょう

薬剤耐性菌の増加を防ぐには、抗菌薬を使用する機会を減らすこと、すなわち感染症にかからないことが重要です。

引き続き、手洗いや手指消毒、場面に応じたマスクの着用など基本的な対策を行い、感染症を予防しましょう。